

2025 年度後期 LSC ワークショップ開催報告

学習支援センターでは、大学で必要なスタディスキル全般や英語のワークショップを開催しています。2025 年度後期は、計 15 回ワークショップを開催しました。

スタディスキルに関しては、以下のワークショップを開催しました。

- ・データで考える「少子化」
- ・レポートワンポイント講座（着想編、アウトライン編、引用編、校正編）
- ・トップが伝えるメッセージとは？～主張を読み取る術を身につけよう～
- ・論理的ヲタクカ
- ・「問い」の立て方～思考力を鍛える～
- ・試験準備ミニ講座～論述問題にチャレンジ～

レポートにおける問いの立て方を練習する講座では、上級生が参加してくれました。「改めて問いを立てる練習をすることで今後人に教える際に役に立てたい」と話しており、講座内でも実践練習を通して、改めて問いの立て方を再認識してくれていました。

レポートにおけるアウトライン、引用についての講座は前期に引き続いての実施でしたが、複数の学生が参加してくれました。「前期に開催していたのに、後期には開催していない」という学生を防ぐために実施しましたが、その効果は十分にあったものと思います。

高校までの学びと大学での学びは大きく異なり、入学してからその違いに驚いたり、困ったりする学生が多いように感じています。私たちは、そのような学生にとってのよりよいサポートができるように、学生に求められるワークショップの開催を継続していきます。また、ワークショップに参加できなかった学生への個別対応も行っていますので、いつでも学習支援センターへお越しください。

（開催の様子）



英語に関しては、以下のワークショップを開催しました。

- ・自分で海外旅行行っちゃおう準備講座
- ・基本英文法復習講座～TOEIC® Part5 を使って～
- ・TOEIC® L&R 直前対策講座

今期は、従来の学習スタイルに新たな風を吹き込むべく、実践的な英語活用を見据えたワークショップを開催いたしました。これまで TOEIC 対策に特化した講座が中心でしたが、今期は「英語をツールとして使い、一歩外へ踏み出す」ための準備レッスンとして、『自分で海外旅行に行っちゃおう準備講座』を新たに

企画いたしました。

この講座では、単に「いつか行きたい」という憧れを語るだけでなく、仮の渡航日程を決め、航空券やホテル代のリアルタイムなリサーチを実際に行いました。具体的な行程や旅費を自らの手で計画することで、学生たちの目からは「海外への心理的なハードル」が目に見えて取り払われていくようでした。互いの夢を語り合い、その実現のために今何に励むかを宣言し合う場では、夢が確かな「目標」へと変わる瞬間の熱気に包まれました。その成果は驚くほど早く現れ、実際に渡航を即決した学生や、渡航のためにアルバイトを始める学生など、主体的な行動が次々と生まれています。また、真に自由な旅を支えるのは「安全」であるという信念のもと、保険の重要性や外務省情報のチェック、身近なツールを活用した危機管理対策についても徹底した確認を行い、地に足の着いた旅の準備を整えました。

一方で、継続している TOEIC 関連のワークショップにおいても、素晴らしい学びの光景が見られました。今回は「文法基礎」と「直前対策」の2つの軸で展開いたしましたが、両方に参加する熱心な学生も多く、会場は常に活気に満ちていました。特に印象的だったのは、学生たちが自ら「ここがわからない」と率直な疑問を投げかけ、お互いに教え合いながら高め合う姿です。同じ目標を持つ「仲間」としての絆が育まれる時間になりました。終了後も、「もっとみんなと勉強したい」「時間が足りない」となかなか帰ろうとしない学生たちの姿に、彼らの学びに対する純粋な情熱を再確認できました。

「机上の空論」から飛び出し、自らの力で世界と繋がろうとする学生たちの姿に、新たな気づきを得ることが出来ました。共に過ごしたこの豊かな時間に深く感謝するとともに、今後も彼らの挑戦を後押しするような、創造的な学びの場を提供し続けていきたいと考えております。

(開催の様子)



2026 年度も大学での学びに役立つようなワークショップを実施する予定です。みなさんのご参加をお待ちしています。扱ってほしいテーマなどありましたら、ぜひ学習支援センターまでお知らせください。